

議会だより

第41号



平成26年4月9日

郷ノ浦幼稚園入園式

春の議会だより

◇主な内容

- ・2月の議会報告会の記録 2P～
- ・1、2、3月会議で決めたこと 4P～
- ・一般質問（7人が登壇） 14P～
- ・次の議会報告会お知らせ 18P
- ・市民の声 19P
- ・議会だよりクイズ 20P

第2回議会報告会



2月6日 郷ノ浦会場



Q 三島大橋の実現に向けた市の動きは。

議会 国県に出向き陳情を行っている。毎年訴えていく。

Q 合併特例債の活用期限が5年間延長した事について。

議会 限度額 159 億 4 千万円のうち現在約 113 億円は使用済、20 億円を基金として積み立てている。5 年間延長で孝岐市の使用期限は平成 30 年度まで延長された。

Q 国体に向け、喫煙マナー、受動喫煙の対策など市の取り組みは。

議会 喫煙に関しては環境を考慮し検討する。皆さんの協力を得たい。



Q 隣国への対応、災害時の活動、地域活性化のために是非とも孝岐に陸上自衛隊を誘致してほしい。

議会 市長も 12 月会議一般質問の答弁で、「自衛隊誘致に全力で取り組む」と言った。市長と共に本格的に誘致を推進していく。

Q 旧孝岐交通ホテルビルは、老朽化が進み非常に危険。12月一般質問後、結論は出たのか。

議会 結論は出ていない。市は危険建築物として認識している。



Q 廃校した中学校のグラウンドの草、トイレ管理などができていない。

議会 市の市民力事業を活かして環境整備を行う方法もある。市と協議してみる。

2月7日 勝本会場



Q ゴルフ場（18ホール）拡張用地の今後の使い道は。

議会 現在、使用目的など具体的な案は無い。

市の回答…今年3月末日で貸与期間が満了し、市の普通財産として売却も含め活用を検討する。



Q 議会報告会の委員会報告は、資料を提供し親切的な報告会を。

議会 適切な資料提供につとめる。

Q 唐津から長崎行のレインボー孝岐号、限定便の運行だけでもできないのか。

議会 知事宛に要望書を提出するなど、最善の努力をする。

市の回答…唐津ー長崎間は必要不可欠な路線であり、今後も路線再開を要望していく。



Q フェイスブックなどのSNSを活用した市の情報発信を、市が取り組まないのは理解できない。

議会 議会としても情報を共有しながら取り組む。

Q 議員視察の研修内容のフィードバックを。視察研修に各種団体と一緒にいくことはできないか。

議会 民間との合同視察研修はできない。視察研修報告は、議会日よりと議会事務局に資料がある。

Q 青少年のスポーツ振興、島内外遠征費の補助はないのか。



第3回報告会を5月15日、16日に開催(詳細は18ページ)



文化ホール大会議室 参加者 54 人



Q 図書館の開放方法、内容の充実を図って幅広い年齢層が楽しめる場所に。また、公民館サークルが他県に比べ少ないのでは。

議会 図書館の充実は議会も必要性を認めている。

市の回答…本の返却は石田・郷ノ浦どちらの図書館でもできる等、工夫をしている。サークル活動の側面的な支援と生涯学習の推進を図る。

Q 成人式の日程は、正月休みにできないのか。

議会 貴重なご意見として市に報告する。

市の回答…日程的に定着し多くの成人者が出席しており、今後も1月第2日曜日に開催する。



Q 新春マラソンの島内の応援が少ない。国体に向け当日の応援も含めて盛り上げていくべき。

議会 市民と一体となって取り組む。



Q 燃料高騰について、国に陳情して反応はどうか。

議会 市は漁業者に対し燃油1ℓ10円の補助。国に対し抜本的な改革を訴える。



Q かたばる病院のあとをどのようにするのか。

議会 市から具体的な跡地利用の方向付けは聞いてない。利活用について問題提起していく。

市の回答…病棟1階は福祉施設として現在も一部使用中。

Q 渡良・初瀬線の道路改良、地元公民館も沓岐交通、観光連盟とで県振興局へ陳情した。離合の出来ない県道などありえない。

議会 毎年、知事への要望として道路拡張を出しており、今回は原発の避難道整備として要望した。

勝本庁舎2階 参加者 26 人

議会 県大会に行く団体が増え、予算対応も大変な状況。



Q 勝本から市民病院へのバス運行が不便。乗り換え等スムーズに改善できないか。

議会 改善に向けて検討するよう市に伝える。



Q 議会改革特別委員会、または活性化特別委員会の設置は。

議会 現在は必要がないから設置していない。

Q 議会報告会は年1回以上各町1会場で開催と定めているが、議会自ら作った要綱は遵守すべき。

議会 ご指摘のとおり、改善して取り組みたい。

議会から…「議会報告会は年1回以上議会運営委員会が決定する日程で行う」と要綱を改めた。



Q 他の自治体で太陽光発電の売電で収入を得ている。沓岐市も遊休地を利用しては。

議会 将来的に必要性を感じるので検討していく。



Q 人口減少問題、定年退職者に定住してもらい、その子どもや孫が沓岐に遊びに来る。

議会 貴重な意見として受け入れる。





1月、2月、3月会議で決めたこと



※三島(大島)、原島診療所の指定管理者(可決)

平成24年1月から診療開始した三島診療所の指定管理期間終了のため、及び4月から原島診療所を開設するための新たな指定管理者を指定する。

両診療所とも、医療法人玄州会理事長 光武新人氏を管理者とし、平成26年4月1日から平成29年3月31日とする。



5月中に診療開始予定の原島診療所

※消費税率の引き上げに伴う関係条例の制定(可決)

消費税率及び地方消費税の引き上げに伴い、使用料等について所要の改正を行う。

関係条例41項目については、担当の常任委員会 で審査し決定した。

※社会教育委員条例の一部改正(可決)

社会教育委員定数15人以内は次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- ①学校教育及び社会教育の関係者
- ②家庭教育の向上に資する活動を行う者
- ③学識経験のある者

※教育委員の任命

- ・田原和雄氏(平成22年就任)の平成25年に引き続き任命に同意。

※人権擁護委員候補者の推薦

- ・平田タカ子氏(平成7年就任)の候補者推薦を了承。
- ・山川和夫氏(平成17年就任)の候補者推薦を了承。

※離島航路の運賃低廉化を求める意見書(採択)

交通政策基本法の理念に則り、「国民が等しく同じ距離を同じ運賃で移動できること」の実現のため次のことを強く要望する。

1. 離島航路運賃をJR並み料金に。
2. 船の燃料油価格変動調整金は国費で。(国の関係機関へ意見書を送付した。)

※市道路線の認定

県道であった郷ノ浦町の旧親和銀行ビル前から八畑交差点の国道合流点までの区間を市道とする。



八畑交差点



旧親和銀行前交差点

※農業委員会委員の議会推薦(決定)

農業委員会に関する法律第12条第2号の規定により議会から4名を推薦した。



富田英司氏(芦辺町)



柳川信行氏(石田町)



米倉美智子氏(勝本町)



山本由紀江氏(郷ノ浦町)

◎平成25年度 補正予算

一般会計の1月～3月補正額計	3億9,400万円
特別会計の1月～3月補正額計	△1,848万円
一般会計＋特別会計補正後の予算総額	338億4,295万円

○平成25年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会 計 名	現計予算額	1月補正額	2月補正額	3月補正額	3月補正額	補正後予算額合計
一 般 会 計	22,967,598	1,860	504,298	△ 115,046	2,890	23,361,600
特 別 会 計	国民健康保険	5,064,487		12,335		5,076,822
	後期高齢者医療	295,920			△ 1,190	294,730
	介護保険	3,163,315		△ 3,788		3,159,527
	簡易水道	803,275		△ 11,359		791,916
	下水道	432,749		△ 11,470		421,279
	特養老人ホーム	474,205			△ 1,205	473,000
	三島航路	123,254			△ 1,800	121,454
	農業機械銀行	142,622				142,622
	合 計	10,499,827		△ 14,282	△ 4,195	
一般会計 特別会計の合計	33,467,425	1,860	490,016	△ 119,241	2,890	33,842,950

○平成25年度企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内 訳	現計予算額	1月補正額	2月補正額	3月補正額	3月補正額	補正後予算額合計
企 業 会 計	病 院 事 業	収益的収入	2,793,879			30,374	2,824,253
		収益的支出	2,761,322			28,653	2,789,975
		資本的収入	328,502				328,502
		資本的支出	398,751				398,751
	水 道 事 業	収益的収入	156,878				156,878
		収益的支出	150,542				150,542
		資本的収入	2,197				2,197
		資本的支出	156,005				156,005

※ H25年度一般会計補正予算 (可決)

8号(1月会議)、9号(2月会議)、10号11号(3月会議)

- **健康増進事業 549万円**
各種がん検診の実績による検診委託料の増額
- **青少年育成事業 80万円**
各種大会に伴う補助金の申請増加による追加
- **道路改良事業費 1億3,630万円**
青嶋大橋補修工事、道路ストック総点検委託料など国の補正による。 (次年度へ繰越)
- **小学校耐震補強等改修事業 3億7,640万円**
霞翠校舎、石田校舎、志原・那賀・筒城体育館の耐震工事費など国の補正による。 (次年度へ繰越)

• 繰越明許費 7億4,970万円 (国の補正含む)

※平成25年度予算を確保しながら執行できず
次年度へ繰り越すもの

年度末まで着工に至らないもの

- 湯本浦地区簡易水道施設整備工事
- 志野原工区農業基盤整備工事
- 芦辺地区漁業集落環境整備工事
- 中央処理区(永田地区)汚水管布設工事
関係機関との協議ができず(1月末契約)工期を延長
- 市道大井出1号線、棚畑鯨伏線、住吉船橋線
道路(橋)整備工事
震災復興事業による資材納入の遅れで竣工が遅れるもの
- 肉用牛振興施設整備事業
- 市道八幡芦辺線(清石橋)道路整備工事
計画変更により工期を延長するもの
- 渡良小学校体育館耐震改修工事



平成 26 年度一般会計予算

私たちの暮らしに身近な事業に注目

平成 26 年度 当初予算
総額 314 億 7,527 万円
 (対前年度比 1.0%増)

一般会計総額 210 億 2,500 万円

特別会計総額 104 億 5,027 万円

- 国民健康保険事業 50 億 9,825 万円
- 後期高齢者医療事業 3 億 769 万円
- 介護保険事業 32 億 1,769 万円
- 簡易水道事業 7 億 5,319 万円
- 下水道事業 4 億 1 万円
- 特別養護老人ホーム 4 億 2,320 万円
- 三島航路事業 1 億 2,693 万円
- 農業機械銀行 1 億 2,331 万円

企業会計

◎病院事業会計

(収益的収入)	29 億 4,212 万円
(収益的支出)	30 億 4,846 万円
(資本的収入)	3 億 5,572 万円
(資本的支出)	4 億 1,735 万円

◎水道事業会計

(収益的収入)	1 億 8,183 万円
(収益的支出)	2 億 3,585 万円
(資本的収入)	225 万円
(資本的支出)	1 億 2,156 万円

子育て

「すくすく育て宝の子」



- 1 出産祝金 1,180 万円
 第 2 子 30,000 円
 第 3 子～ 100,000 円
- 2 乳幼児の医療費無料 960 万円
 医療費の保険適用分に対する自己負担相当額（時間外除く）の助成
- 3 (新)ファミリーサポートセンター事業 50 万円
 会員を募集し会員相互で地域の子育て支援をするための準備費
- 4 保育所運営費 6 億 8,838 万円
 市内保育施設、へき地保育所等の運営費
- 5 児童手当 4 億 9,160 万円
 児童手当法などによる中学校修了前の子どもを養育する方へ支給
 月額 3 歳児未満 15,000 円
 3 歳～小学校修了まで
 (第 1 と 2 子) 10,000 円
 (第 3 子～) 15,000 円
 中学生 10,000 円
 (特例給付 5,000 円)
- 6 放課後児童クラブ委託料 1,221 万円
 小学生の下校後の保護育成のための支援事業
 施設名・あそぼうね（勝本町）
 ・はなまる教室（郷ノ浦町）
 ・なかよし児童クラブ（郷ノ浦町）
 ・箱崎 GOGO 児童クラブ
 ・石田スマイルクラブ

教育

「未来を担う 子どもたち」



- 1 学校図書購入費 736 万円
小学校 481 万 1 千円
中学校 254 万 7 千円
- 2 学校給食 1 億 1,121 万円
給食調理員の人件費
☆保護者が負担する給食費は全て子どもが
食べる食材費。きちんと納めましょう。
- 3 スクールバス・ボート運行 6,318 万円
中学 3 校 12 路線、ボート 1 航路、石田
小学校 2 路線
- 4 スポーツ大会出場費助成 500 万円
小中学生の各種スポーツで、市代表として
出場する県大会への旅費助成
- 5 タフな子ども育成事業 178 万円
小学校 2 校、中学校 1 校を実践校に指定
し、困難を克服し目標に向かって努力する
子どもを育成する事業

健康

「はつらつ 元気に生きる」

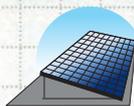


- 1 健康増進事業 4,626 万円
健康診査、がん健診、健康相談・健康教
育で市民の健康を守る。
- 2 母子保健事業 3,158 万円
妊婦健診、乳幼児健診、歯科健康教室費
など。
- 3 予防接種委託事業 5,804 万円
インフルエンザ、BCG、4 種混合、高
齢者肺炎球菌等ワクチン接種。



くらし

「快適なくらしを サポート」



- 1 住宅リフォーム支援 2,709 万円
・ 30 万円以上の住宅改修に 10% (上限
20 万円) の補助
・ 住宅の性能向上 (バリアフリー、省エ
ネ等) 改修に補助
- 2 合併処理浄化槽設置整備 8,944 万円
公共下水道と漁業集落排水整備区域外に
設置する浄化槽に補助
- 3 住宅太陽光発電設備設置 270 万円
太陽光発電システムの設置費用に助成
(60,000 円× 45 件)
- 4 (新) 地域支え合い ICT モデル事業
860 万円
三島 (大島、長島、原島) 地区全 150
世帯のテレビにインターネットを接続し、
ICT を利活用して行事、防災、見守り情報
など提供するモデル事業。

福祉

「みんなが 等しく幸せに」



- 1 障害者福祉医療費 7,560 万円
身障者手帳、療育手帳を所持する方の医
療費の一部を支給。
- 2 特別障害者手当 3,742 万円
在宅で著しく重度の障害状態にあり、常
時特別の介護を必要とする方への手当。
- 3 (新) 敬老祝金 1,077 万円
77 歳 10,000 円× 367 人
88 歳 20,000 円× 250 人
100 歳 100,000 円× 21 人
- 4 配食サービス 3,058 万円
65 歳以上の在宅の高齢者、障害者に定
期的に食事を提供。
- 5 はり・きゅう・あんま・入湯助成金
2,201 万円
高齢者の健康と福祉の増進を図るため
65 歳以上に助成。

環境

「この島が好きだから」



- ① **リサイクル報奨金 1,272 万円**
資源ゴミを分別し回収し減量化を図って自治公民館に還元。
- ② **古紙類等資源化・リサイクル処理 4,355 万円**
新聞紙、ダンボール、雑誌等の資源リサイクル処理委託。
- ③ **クリーンセンター等事業費 6 億 4,553 万円**
 - ・環境管理組合委託料 2 億 2,729 万円
 - ・クリーンセンター管理費 1 億 4,079 万円
 - ・勝本自給肥料供給センター管理費 3,761 万円
 - ・汚泥再生処理センター管理費 9,583 万円
 - ・郷ノ浦町浄化センター解体費等 1 億 4,400 万円

漁業

「新鮮つまかもんを届けたい」



- ① **栽培漁業 8,414 万円**
 - ・アワビ種苗センター管理費 5,849 万円
 - ・壱岐地域栽培漁業推進協議会負担金 2,565 万円

市内5漁協のアワビ・ウニ等種苗の大量放流に半額負担。
- ② **漁業用燃油高騰緊急対策事業 1 億 2,000 万円**
漁家経営安定のため、漁業用燃油に対し1ℓ 10円の補助。
- ③ **(新)FRP 漁船廃船処理対策事業 338 万円**
FRP 漁船の廃船処理方法を比較検証するため、廃船処理に補助。
- ④ **離島漁業再生支援交付金 1 億 2,354 万円**
漁家10集落に支援を行い活性化を図る。

農業

「人と大地を活かす」



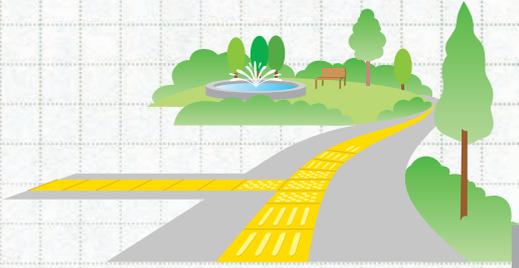
- ① **有害鳥獣被害防止 2,114 万円**
イノシシ、リス、シカ、カラスを駆除し、市内の生態系と農水産物を守る。
- ② **農地流動化奨励金 2,858 万円**
交付要件を満たした農地の賃貸・賃借人に補助金を交付し、農地活用を促進し経営強化を図る。
- ③ **家畜導入事業補助金 3,294 万円**
肉用牛の維持・増頭の家畜導入費用に助成。
- ④ **中山間地域等交付金 1 億 9,212 万円**
過疎化・高齢化による耕作放棄防止と、農地適正管理に取り組む集落へ交付金を支給し、農地保全につとめる。(149 組織)

建設

「安全安心まちづくり」



- ① **道路改良・補修事業 5 億 9,243 万円**
 - ・市道維持補修 1 億 5,954 万円
 - ・改良起債事業 2 億 300 万円
 - ・改良補助事業 1 億 7,865 万円
 - ・改良単独事業 2,734 万円
 - ・施設整備事業 580 万円
 - ・地域振興事業 1,810 万円
- ② **急傾斜地崩壊対策 2,560 万円**
- ③ **公園管理費 5,499 万円**
都市公園の管理委託費と勝本総合運動公園改修工事費



商工

「島の活気を取りもどす」



- 1 **しまとく通貨事業 1億7,191万円**
 - ・しまとく通貨壱岐市負担金 1億6,040万円
 - ・しまとく通貨利用促進事業 1,151万円
- 2 **(新)プレミアム付商品券発行補助金 1,500万円**

6/2～12/1の期間、10%のプレミアム商品券を発行し経済の振興を図る。
- 3 **商工・産業まつり補助金 485万円**
 - ・勝本朝市まつり 11月 2日開催
 - ・郷ノ浦ひろば 11月 3日開催
 - ・芦辺商工産業まつり 11月 16日開催
 - ・石田商工産業まつり 11月 23日開催
- 4 **観光物産展開催事業 1,051万円**

東京都庁、大阪、広島、博多駅で特産品のPRイベントを開催。

観光

「壱岐はよかとこばい！」



- 1 **地域おこし協力隊事業 2,333万円**
 - ・人件費、家賃、活動費等 2,240万円
 - ・壱岐ブランディング事業 93万円
- 2 **(新)インバウンド事業 924万円**
 - ・外国人誘客事業 310万円
外国人が壱岐に宿泊すれば3千円助成等。
 - ・地方連携事業 124万円
華南圏（香港、広州市）の旅行会社等を招聘。
 - ・福岡市との連携事業 490万円
台湾の観光客を福岡市と連携して壱岐へ。
- 3 **情報発信強化事業 2,090万円**

外国語パンフレット、ポスター、プロモーションビデオ作成委託費。
- 4 **(新)観光地公衆トイレ改修事業 1,200万円**

岳ノ辻駐車場外15ヶ所の公衆トイレを洋式化。

消防

「あなたの命と財産守ります」



- 1 **(新)救急車購入事業 3,500万円**

高規格救急車1台を購入
- 2 **地域の防災力向上整備費 104万円**

自主防災組織の新規結成・加入促進に伴う備品購入
- 3 **消防施設整備事業 6,840万円**

格納庫の建設改修、防火水槽の設置等
- 4 **非常備消防費 9,957万円**

消防団員の報酬、出動手当、退職報償金負担金など



消防本部・消防署 新庁舎竣工

平成26年度中に外構部分も完成の予定

委員会レポート



予算特別委員会

委員長：今西菊乃
副委員長：牧永 護
委員：全議員
議長：オブザーバー

平成25年度一般会計補正予算（第10号）（第11号）、及び平成26年度一般会計当初予算の付託を受け審査を行った。

3日間の会期で、年度・款（所属）毎に日程をとり活発な質疑を行い、慎重に審査し、全ての予算案を可決した。



新消防庁舎視察

総務文教厚生常任委員会

委員長：豊坂敏文
副委員長：市山和幸
委員：市山 繁、鵜瀬和博、小金丸益明、
土谷勇二、赤木貴尚

付託された議案16件、要望1件を審査し、議案については全て可決、要望は不採択とした。

【委員会意見】

○平成26年度国民健康保健事業特別会計予算は、平成24年度より毎年度赤字補填分の法定外繰入金で2億円程度計上されている。このままでは市の財政を圧迫することから、国保財政の健全化を図りたい。

○平成26年度特別養護老人ホーム事業特別会計予算は、施設建設に向け運営形態を明確にし、早期建設の実現を図ること。

○要望の「これからの勤労青年教育のあり方に関する要望」については、当市の青年教育は実態に応じた教育がなされており不採択とした。



石田保育所視察



予算特別委員会

[委員会意見]

新年度より地方交付税の合併算定替えによる段階的削減が始まり、市民税も減少し厳しい財政状況となっている。委員から出された次の指摘事項を念頭に、限られた財源を効率的に活用すべき。

- ①多すぎる委託料の削減改革を。
- ②合併特例債・合併振興基金は有意義な使途計画で。
- ③地方バス路線(市民病院)変更を早急に。
- ④どんたく隊は担当者の継続で内容の見直しを。
- ⑤堆肥センターの赤字運営は解消策が必要。
- ⑥認定漁業者の認定基準の見直しを。
- ⑦原の辻ガイダンスの活用策の検討を。

産業建設常任委員会

委員長：深見義輝

副委員長：呼子 好

委員：牧永 護、久間 進、中田恭一、
田原輝男、今西菊乃、音嶋正吾

付託された議案6件、要望4件の付託を受け審査をした。全議案を可決し、要望4件は継続審査とした。



沓岐ビジョンスタジオ等視察

[委員会意見]

○簡易水道事業と水道事業会計は、平成29年度より統合する。統合に向け環境整備を図ること。
○要望の「福岡-沓岐-対馬航路における運賃値下げ実現のため長崎リプレイス事業支援の早期適用についてご支援、ご協力をお願いする要望」外3件は、航路問題に対する要望であり、その重要性を考え総務文教厚生常任委員会との連合審査とする。

航路の問題は、人・物の流れを左右し、沓岐市経済にとっては重要な問題であることから、3月25日、提出者12名出席による説明を聴取した。尚、十分な協議と慎重な審査が必要と判断し継続審査とした。



議案と審議結果一覧表（1月、2月、3月会議）

※賛否（賛成・反対）のあった議案はありません。

番号	議案内容	本会議採決結果		番号	議案内容	本会議採決結果	
議案1	損害賠償の額の決定	1/30	可決	議案24	25年度吉崎市特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第3号）	3/26	可決
議案2	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	1/30	可決	議案25	25年度吉崎市三島航路事業特別会計補正予算（第2号）	3/26	可決
議案3	市税外収入金に係る督促等に関する条例等の一部改正	1/30	可決	議案26	25年度吉崎市病院事業会計補正予算（第3号）	3/26	可決
議案4	吉崎市自動車教習場条例の一部改正	1/30	可決	議案27	26年度吉崎市一般会計予算	3/26	可決
議案5	公の施設の指定管理者の指定（吉崎市三島診療所、原島診療所）	1/30	可決	議案28	26年度吉崎市国民健康保険事業特別会計予算	3/26	可決
議案6	25年度吉崎市一般会計補正予算（第8号）	1/27	可決	議案29	26年度吉崎市後期高齢者医療事業特別会計予算	3/26	可決
議案7	吉岐カード詐欺事件に関する請願	1/30	可決	議案30	26年度吉崎市介護保険事業特別会計予算	3/26	可決
議案8	市消防関係手数料条例の一部改正	2/26	可決	議案31	26年度吉崎市簡易水道事業特別会計予算	3/26	可決
議案9	25年度吉崎市一般会計補正予算（第9号）	2/25	可決	議案32	26年度吉崎市下水道事業特別会計予算	3/26	可決
議案10	25年度吉崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	2/26	可決	議案33	26年度吉崎市特別養護老人ホーム事業特別会計予算	3/26	可決
議案11	25年度吉崎市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	2/26	可決	議案34	26年度吉崎市三島航路事業特別会計予算	3/26	可決
議案12	25年度吉崎市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	2/26	可決	議案35	26年度吉崎市農業機械銀行特別会計予算	3/26	可決
議案13	25年度吉崎市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	2/26	可決	議案36	26年度吉崎市病院事業会計予算	3/26	可決
議案14	附属機関設置条例の一部改正	3/26	可決	議案37	26年度吉崎市水道事業会計予算	3/26	可決
議案15	職員の給与に関する条例の一部改正	3/26	可決	議案38	25年度吉崎市一般会計補正予算（第11号）	3/26	可決
議案16	社会教育委員条例の一部改正	3/26	可決	議案39	教育委員会委員の任命	3/26	同意
議案17	地域生活ホーム設置及び使用に関する条例の一部改正	3/26	可決	議案40	人権擁護委員候補者の推薦（2名）	3/26	了承
議案18	病院事業の設置等に関する条例及び吉崎市職員定数条例の一部改正	3/26	可決	要望1	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望	3/26	不採択
議案19	公の施設の指定管理者の指定（青嶋公園）	3/26	可決	要望2	福岡—吉岐—対馬航路における運賃値下げ実現のための長崎県リプレイス事業支援の早期適用についてご支援・ご協力をお願いする要望	—	継続審査
議案20	沼津B辺地に係る総合整備計画の策定	3/26	可決	要望3	指定区間：「吉岐—博多航路」と「厳原—博多航路」の分離を求める要望	—	継続審査
議案21	市道路線の認定	3/26	可決	要望4	九州郵船の博多航路深夜便の廃止を求める要望	—	継続審査
議案22	25年度吉崎市一般会計補正予算（第10号）	3/26	可決	要望5	唐津航路の指定区間サービス基準を緩和し、減便によって航路の赤字解消を求める要望	—	継続審査
議案23	25年度吉崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	3/26	可決	発議1	離島航路の運賃低廉化を求める意見書の提出	3/26	可決

“情報発信でなんじゃろ？”



議会で言ってる情報発信って何じゃろう？



災害の情報を知らせたり、壱岐の良いところを全国に紹介することよ。

フェイスブック、ライン、ツイッターとか、まとめて SNS って言うんだ。
壱岐市もそういうのを使った情報発信をしてと言ってるんだよ。



たとえば、そのフェイスブックって何なの？

情報をインターネットで投稿する無料の掲示板さ！



市のホームページとは違うの？

あれはお金がかかるし、パソコンから投稿するので時間がかかる。



フェイスブックは、携帯からも投稿できるのよ！

土砂崩れなど災害を発見したら、その場で写真を付けて投稿できる。



でもフェイスブックしてる人にしか伝わらないんでしょう？

最初はそうだけど次々に情報は広まって行くのよ！
人には「助けたい知らせたい」という気持ちがあるからね。

雑誌やホームページでしか見られない風景も、
季節によって様々な景色をみんなに届けられる。



イベントや行事の情報も広まって、
みんなの感想もコメントで受け取ることができるのよ。

評価や苦情のコメントが集中する場合もあるんだ。



市役所がフェイスブックをしないのはそれが怖いのかな？

責任を誰がとるのか？と思ってるのかも。

無責任な投稿をする職員はいないと思うけどね。



市役所の情報なら心強いし、信頼できるのにな！

だんだん分かって来たねー！

私もフェイスブックはじめて、おばあちゃんにも情報届けてあげる！

そうそう、若い人からお年寄りに伝えることもあるんだね。



みんな、つながるね～！（笑）



一般質問

7人が登壇

「市政を質す」

一般質問とは、普段の議員活動の中で考え得たことを公表し市政に関する疑問点を質し、市民の要望に叶う施策を問う場。



壱岐商業高校入学式 (4/8)



今西 菊乃 議員

◎子育て環境の整備

①0歳児預かり保育を増員されるが、年度途中での入所は難しい状況である。民間の認可外保育所・小規模保育所への人件費の対策が必要では。

②幼稚園教育の必要性をどの様に考えているか。

③認定こども園に向け、3年前から検討委員会を立ち上げ着手しているが一向に方向性が出ていない。子ども子育て会議の進捗状況は。

④放課後児童クラブ・幼稚園・保育所の3施設を利用している保護者の負担は大きく、利用料の軽減を。



石田保育所 0歳児のお部屋

◎子どもは宝 市長

①民間保育所にも国の助成が使えるようになったのでその中で対応する。

②入学前の幼稚園教育は重要であり必要。幼稚園では支援員を配置して対応している。

③幼保一元化に向け、検討委員会7回、子ども子育て会議6回の会議をしてきた。3月中に中間答申が出される予定。

④国の施策と合わせ、こども子育て会議で検討する。

◎島の花嫁サポート

特に島外から嫁いできた女性は、慣れない島独特の生活環境や慣習の中で、出産・子育てとストレスを抱えても相談相手がない。専用の相談窓口の開設を。

◎現状の保健師で対応 市長

妊婦・乳幼児健診の窓口で対応する。



音嶋 正吾 議員

◎ 合併10年の検証

- ①地域審議会の開催回数が少なかったのでは。
- ②合併後、駆け込み事業優先の不公平な自治が散見された。
- ③出産祝金の不公平支給を

是正すべき。

▲ 壱岐らしい発展を 市長

- ①必要に応じ4地区合わせ30回開催した。
- ②4町均衡ある発展のため努力してきたが、これからは壱岐らしさを念頭に置いて政策を進める。
- ③合併時の協定事項を遵守する。

◎ 攻めの農業政策を

農業、漁業の政策メニューについて周知対策を強化し、農漁業起業家を志す若者の育成をすべし。

▲ 一次産業のイメージアップ 市長

高収益の産地体制の転換を図るために考えを新たに、農業漁業をビジネスとして捉えた体験学習等を通じて、第一次産業に対する知識、そしてやる気を持てるよう研究していく。

◎ 壱岐海を守ろう

海砂は化石資源である。海砂採取は経過措置期間を経て廃止するなど是正措置を。また、海の世界破壊との因果関係はあるか。

▲ 海砂採取の枠拡大に反対 市長

長崎県海砂採取限量量に関する検討委員会の委員として、現在の採取量が上限であると提言し賛同を得られた。因果関係は、特定できないという研究報告を受けている。



筒城浜海水浴場



市山 繁 議員

◎ 研修医宿泊施設の整備

- ①市民病院の研修医宿泊施設の場所と規模は。
- ②研修期間と申し込み件数は。
- ③研修医を受け入れるメリットと協力病院は何ヶ所か。

▲ 最適な研修環境となる 市長

- ①市民病院隣接地に、RC 2階建て延床面積380㎡6室。
- ②研修期間は1ヶ月、今のところ10人が決定。
- ③総合医療を目指す医師の教育研修を充実させ、医師確保ができる。協力病院は8ヶ所。



答弁中の市民総病院長 向原氏

◎ 敬老祝金を子育てに

減額した財源の一部を子育て支援や少子化対策に充当できないか。

▲ 小規模保育施設運営支援などに充当 市長

◎ 敬老行事の充実を

敬老会参加を楽しむため、地域力でのアトラクションを。

▲ 魅力ある敬老会にする 市長

◎ 島民みな家族

ふるさと応援寄付金のお礼は特産品PRを兼ねて贈っては。また、島内でも共助を推進し将来を担う子育て支援を。

▲ ありがたい貴重な財源 市長

島外寄付者が喜ばれるものを贈る工夫をする。島内寄付金制度は、他市の「こども基金」など形態を模索してみる。

◎ 海底送電線

新再生エネルギーの安定送電を考慮し、海底送電線の実現に向け国及び九電に対し要望を。

▲ 早期着工を強く働きかける。 市長



呼子 好 議員

Q ふるさと納税

過去6年間の寄付の件数と金額は。また、寄付に対する御礼の単価と内容は。

A ご好意に感謝 市長

島外者465人から、総額2,547万円。1万円以上に
対し謝礼として5,000円相当の特産品を進呈している。特産品を選択できるメニューを構築中。

Q 新たに募集の地域おこし協力隊について

A 定住が大前提 市長

旅行商品の開発と、ゆずの販路拡大のため募集。定住する意欲のある方を採用する。

Q 特養ホーム完成はいつ

計画が延び延びであるが、完成時期と経営形態の変更は。

A 30年4月に開所させたい 市長

経営形態等、26年度早期に決める。

Q 合併10周年功労者

功労者の選考基準は。雇用対策に寄与している企業や福祉施設、また産業振興に尽力された方、市歌の作詞家など多くの方が漏れてないか。

A 各団体の方々に申し訳ない 市長

Q 学力向上と委員会改革を

A 授業力の上がる資料を全教員に 教育長

一時間ごとの授業を充実させており、土曜授業は考えていない。教育委員会は改革せずとも円滑な運営はできる。



「全教員に配布の資料本」
米1升到例えた表紙
「1粒1粒の積み重ね
なくば1升とならず」



赤木 貴尚 議員

Q 災害時の要支援者対策

多様化する災害時の要支援者を把握するための名簿は作成されているのか。

A 現在、準備中 市長

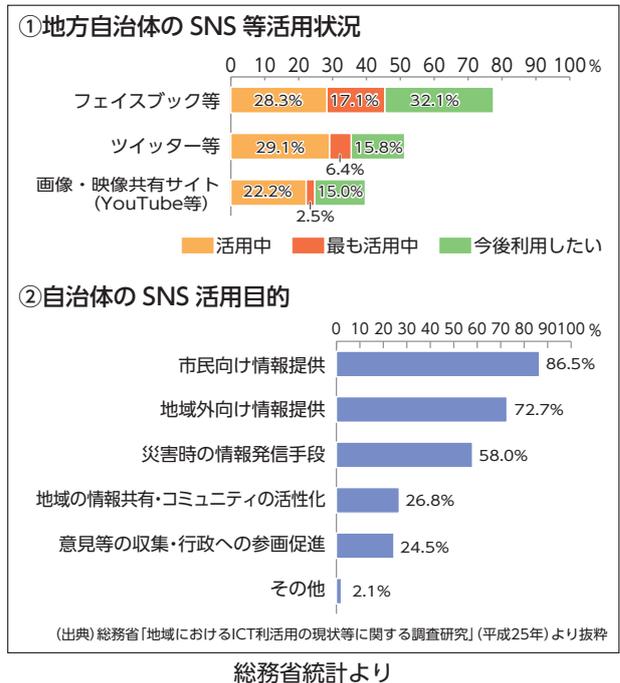
昨年の災害対策基本法の一部改正で「避難行動要支援者」と呼ぶようになった、平成26年度から「避難行動要支援者名簿」が義務化される為現在、準備を進めている。

Q 災害時の注意喚起

全国的に災害時の情報伝達的手段としてSNS(インターネット・ツイッター)を総務省も推進している、吉岐市の取り組みは。

A 早急に活用 市長

東日本大震災で電話、メールが使えない時に安否確認、避難情報の取得にツイッターが広く使われた。今後は、フェイスブック等を活用する検討を進めつつ、ツイッターについては早急に活用する。



Q PCウイルス対策

市保有のパソコンの中に製品サポート期限が切れる『ウィンドウズXP』が未更新であるが、ウイルス対策は万全か。

A 喫緊の課題はない 市長

市はインターネットの入り口で防御している。26年度内にはすべて更新する。



鵜瀬 和博議員

◎ これからの10年

- ① 市政10周年を迎え、市長の感想を。
- ② H26年が最終年度となる市総合計画の目標達成度と評価は。
- ③ 新市総合計画の策定方法とその進め方は。

④ 特に少子人口減少の今、定住、子育て対策が急務。第1次産業の振興も併せ、交流人口拡大のため観光振興にも力をいれなければならない。地域間競争激化する時代だからこそ壱岐ならではの計画を策定すべき。

▲ 全力で市政運営に当たる 市長

- ① ハード、ソフト面において合併した効果が非常に大きかったと強く感じている。
- ② 平成26年度までの目標値なので次期計画策定時に、壱岐市総合計画審議会で検証する。
- ③ 条件付きのプロポーザル方式で事業者を選定し、策定した素案について市総合計画審議会を開催、内容を議論する。「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、壱岐」の将来像は変わることはない。本市の基幹産業である第1次産業の振興、雇用創出や子育て環境の整備、人口減少対策、そして観光振興ではインバウンドの交流人口拡大を重要な柱とする。
- ④ 離島航路運賃など様々な課題は山積しているが、その解決、道筋について気持ちを新たに、真剣に取り組む。



海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、壱岐



市山 和幸議員

◎ 市民の命を守れ

本市でも胃ガンで命を落とされる方が多い。胃ガンや潰瘍などの要因はピロリ菌によるものが大半。医療費削減にも繋がり、本市でも胃ガン検診にピロリ菌検査を取り入れるべき。

▲ 受診率向上に努める 市長

今年度胃ガン検診率は19%、今後も受診率の向上に努める。助成については今後医師会と相談して検討する。



◎ 空き家対策を急げ

相続人が島外在住のため管理意識が低く放置された家屋が増加している。倒壊や火災、ゴミの不法投棄など深刻な問題となり、国会で行政代執行について強化される予定。本市も空き家対策を見直す時期であり、解体助成は次年度も継続すべき。

▲ 法案成立を受け対策 市長

空き家解体の今年度助成の利用は2件、助成制度については次年度も継続して取り組む。市の条例では強制力が乏しいので、特別措置法の成立に基づき対策を講じたい。

お知らせ

第3回 議会報告会

巻岐市のみなさん
議員と語りませんか？

\\ 「市民の声」を市政に！ //

議会からの報告だけでは終わりません。
あなたの思い、あなたの疑問をどうぞ届けてください。

◇小・中学生（保護者同伴）、高校生（保護者同意）の参加も
大歓迎です。市の政策等に興味のある方はご参加ください。

5月15日 木 午後7時～

○石田町 農村環境改善センター
2F 会議室

16日 金 午後7時～

○芦辺町 市役所 芦辺庁舎
2F 会議室

※ご都合のつく会場に、ご来場ください。

※ 問い合わせ先 議会事務局 42-1111

市民の 声



議会だよりクイズの
応募の中で
お寄せいただいた
ご意見ご感想を
ご紹介します。



転勤して来て2年経ち
ますが、道路がきれいになり
運転しやすくなりました。今後
もどんどん進めてほしい事業
だと思います。 32歳

市民病院について好評
の声を耳にします。過日、友人
の見舞いに行きました。部屋に看
護師さんが来られましたが、とて
も好感がもてました。 77歳



学校で給食を食べま
したが私達（保護者）の時代
より内容が安っぽく感じました。
給食費を払わない人がいるからで
しょうか？ 払わない人にはもつ
と強く出るべきでは。 41歳

吉岐でもいろいろなイベ
ントが行われていてスゴイなど
思います。みんな吉岐を盛り上げ
ようと頑張っているのも私も
頑張ります。 9歳



これからの

原の辻イベント

5月3~6日

原の辻GW
ガイダンスウィーク

5月24日

お田植祭
古代米づくり体験

6月1日

吉岐の島
泥んこバレー大会

第21回

議会だよりクイズ

郷ノ浦幼稚園の
 おともだち



第20回クイズの答え

①630円 ②88歳 ③3月1日
 応募総数43人中全問正解者は38人でした。ご応募ありがとうございました。

～ 第20回クイズの当選者 ～
 久保優柚愛様 白井邦夫様
 徳島美登子様 長島希星様
 江崎彩実様 (順不同)
 おめでとうございます！

クイズに答えて
 図書カード(1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってま～す!!

- クイズ** 「次の問題に答えよう」
 ○に当てはまる言葉は何か？
- その① ICTで防災等の情報を供用して、高齢者見守りなど地域支え合いのモデル地区となるのは○○地区。
 - その② 6月1日から商工会が発行する商品券には○○%のプレミアム(上乘せ・おまけ)が付きます。
 - その③ 5月の議会報告会は○○日と○○日。皆様のご参加をお待ちしております。
- ヒント** この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで良く読んでみてください。

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりのご感想や、議会・市政への**ご意見・ご要望**などもお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。
 (当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521
 吉岐市勝本町西戸触 182-5
 吉岐市議会事務局 宛

《しめきり》 平成26年5月31日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

本年、吉岐市は10歳になりました。
 「ま～るくて小さな島」は4つの町が1つとなり、未来へ向けて突き進んでいます。
 島を見渡すと、島のシンボルとなる一支国博物館ができ、そして焼却場の煙突が次々と消えて行きました。
 一次産業を主産業とし、海・山の幸が豊富で、1年を通じ新鮮な食材のある自給自足の可能な島は、島全体を「楽園」として世界へとアピールできる観光地の素材を持ち合わせています。
 市制10年と言えはもう立派な大人。なお一層、市民が一丸となって吉岐市を盛り上げ、チャンスを活かしていきましょう。



議会広報特別委員会
 委員長 赤木 貴尚
 副委員長 久間 進
 委員 牧永 護
 豊坂 敏文
 深見 義輝
 土谷 勇二

牧永 護

お知らせ
 吉岐市ホームページ
<http://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会の
 インデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について
 お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。
 市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
 吉岐市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会
 〒811-5521
 長崎県吉岐市勝本町西戸触 182-5
 TEL: 0920-42-1111
 FAX: 0920-42-0096
 【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp
 【URL】 http://www.city.iki.nagasaki.jp